

令和4年度認知症疾患医療センター研修会第3回 『心理検査について』の開催報告

【開催概要】

- (1)日 時 令和5年2月10日(金) 18:30~20:00
(2)開催方法 オンラインにて開催(コロナ感染拡大防止のためハイブリッド同時並行で開催予定であった会場研修は中止)
(3)講 師 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
公認心理師・臨床心理士 熊尾 良子 先生

- (4)参加者数 62 関係機関 90名

(関係機関の内訳)

開業医	6 関係機関	8 名
居宅介護支援事業所	4 関係機関	11 名
地域包括支援センター	9 関係機関	14 名
認知症疾患医療センター	4 関係機関	9 名
病院	36 関係機関	40 名
訪問看護ステーション	3 関係機関	8 名

(職種の内訳)

医師	8 名	看護師	30 名
認知症認定看護師	1 名	作業療法士	4 名
言語聴覚士	1 名	理学療法士	1 名
公認心理師・臨床心理士	1 名		
公認心理師	1 名	臨床心理士	3 名
主任ケアマネジャー	2 名	ケアマネジャー	9 名
社会福祉士	11 名	精神保健福祉士	9 名
介護福祉士	1 名	認知症担当	3 名
ケアスタッフ	1 名	事務	4 名

- (5)本日の講演会についてのご意見、ご感想。

・心理検査の結果により認知症の種類や進行具合、重症度がわかるだけでなく、検査対象者に起こりうるBPSDを予測、行うべき配慮などを考えることができるということで、検査内容や結果を理解しておくことは、その人に関わるにあたり重要であると感じた。

・記憶力だけでなく、行動、作業能力を観察しながら細かくいろいろな方向から診ていてなるほどと思いました。

・検査の前に目的や内容を伝えるとありましたがどのように伝えるのかなど模擬的に見せていただけるとわかりやすかった。検査結果をどう患者さんの困りごとの解決に繋げていくのかももう少し詳しく聞きたかった。

・神経心理検査の名前は知っているものの実際の内容について知ることができました。とても興味深い内容でした。

・認知症の検査といってもさまざまな種類があり、検査の種類や結果からどの部分の機能が低下しているのかをみて対応方法や適切な介護サービス利用へ繋げていきたいと思えます。

等の貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。次年度の研修会開催の参考にさせていただきます。ありがとうございます。